

# 新名誉会員の紹介

## 藤森 謙一 氏

明治44年3月30日生  
現住所 東京都渋谷区大山町33  
—13

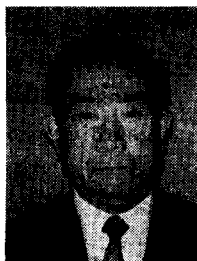
本籍地 東京都

日本OR学会として藤森さんに大変お世話になったこと。最初は、なんと言っても、岸 道三会長にご出馬いただいたときの説得役としてであった。当時、次期会長として期待されていた袖山喜久雄副会長（当時東レ社長）が現職のまま急逝され、突然シャッポを失ったOR学会は、一種の危機的状況にあったが、気を取り直して、次期新会長を当時日本道路公団総裁の岸さんをお願いすることとなった。袖山さんの引出し役が山口英治さん（当時信越化学）と第二次大戦中東レ（当時袖山兵器部長）に電池魚雷を作っていたご縁で私の2人だった関係で、私が岸さんの引出し役をも命ぜられてお会いすることになった。ところがお目にかかってOR学会長としてのご出馬をお願いしたとたん「俺も殺す気か！」と怒鳴られた。岸さんは顔は笑っておられたので、もちろんご冗談だったが、とにかく引張り出しの最初の儀式は失敗したわけである。そこで道路公団の部長でおられた藤森さんに「今度は儀式でなくて本番ですよ」とお願いして、みごとに成功、岸会長が実現して学会は危機を脱したわけである。その後、OR学会が藤森さんにお世話になったことは、ご略歴の示すとおりである。

藤森さんは、私どもより約10年先輩で、故横山勝義さん（OR学会元会長）や私などにとって兄貴分の存在であった。学会の運営においては常に大所高所からのご意見をいただいたが、岸・安川の両会長を補佐して並々ならぬ功績をあげられた。ご専門の面では、交通・輸送、さらには物流のORの先駆者であり、今日の日本経済を支えるインフラストラクチャの整備に尽力された。

今でも丸の内ORクラブなどで時々お目にかかるが、いつまでもお元気で、私たち後進の者に赴くべき進路を示していただくことを切にお願いするものである。

（松田武彦記）



## 略 歴

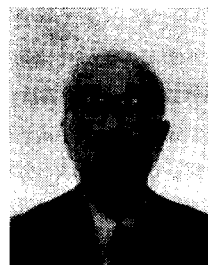
昭和9年3月 東京大学工学部土木工学科卒業  
同 4月 内務省東京土木出張所  
昭和30年3月 建設省近畿地方建設局企画部長  
昭和32年10月 日本道路公団計画部長  
昭和36年9月 同公団理事就任  
昭和43年11月 清水建設株式会社常務取締役就任  
昭和45年11月 同社専務取締役就任  
昭和43年10月 千葉工業大学工学部教授  
平成元年7月 株式会社八州建設コンサルタンツ取締役会長就任。現在に至る。

## OR学会関係

評 議 員 昭和35年～47年度  
常務理事 昭和38年～39年度  
副 会 長 昭和41年～42年度  
フェロー 昭和48年4月  
授 賞 第16回日本OR学会普及賞

## 山口 襄 氏

明治40年11月11日生  
現住所 東京都品川区南品川5  
—11—49  
本籍地 同上



山口襄氏は東京電気（後の東芝）に在職中終戦を迎えられました。氏は当時GHQが通信機業界を対象に実施した日本最初の品質管理の講座に出席されて品質管理の重要性を認識し、直ちに社内に研究会を発足させました。幸い、この研究会は山口氏指導のもとに社内に石田保士氏という推計学の練達之士を得ることにより研究、計画の中心となり全社に対してQCを実施し、大きな成功を納めることができました。続いて昭和25年同氏は生産技術の全社的なセンターである生産技術部の部長として就任されました。同部はQC、IE、OR等の新しい管理技術や切削、プレス等の製造技術の研究、実施に対する支援等を行なうもので全社から若い技術者を集めてそれに当らせました。当時としては斬新な組織で、新しい管理

技術を社内に普及させるのに大きな原動力となりました。

このように同氏はQC、OR等の管理技術に深い理解と共感をもたれ、OR学会において東芝の土光社長が会長であった時期に副会長に就任し、土光会長の学会における補佐として活躍されました。その後、学会体質の強化に勤められ、48年にはフェローに選出されました。現在でもご高齢にもかかわらず『丸ノ内ORクラブ』では元気なお顔を拝見するようです。

ORに対する同氏の功績を称えて理事会は名誉会員に推薦することとし、総会で満場一致で可決されました。

山口氏に対して心から感謝の意を示すとともに、ここにご報告いたします。

#### 略 歴

昭和7年3月 北海道大学工学部電気工学科卒業

同 11月 東京電気株式会社入社  
 昭和25年5月 同社生産技術部長  
 昭和41年5月 東京芝浦電気株式会社取締役就任  
 昭和43年5月 同社常務取締役就任  
 昭和45年 同社監査役就任  
 昭和46年 東芝ベックマン株式会社社長就任  
 昭和41年 日本規格協会理事、現在に至る。  
 昭和38年 デミング賞受賞  
 昭和44年 藍綬褒章授章

#### OR学会関係

評 議 員 昭和36年～46年度  
 常務理事 昭和37年・40年度  
 副 会 長 昭和42年～43年度  
 フェロー 昭和48年4月

### 報文集価格表 (会員価格)

T-73-1	ネットワーク構造を有するオペレーションズ・リサーチ問題の電算機処理に関する基礎研究	1200円
T-76-1	オペレーションズ・リサーチのためのデータとプログラムに関する研究	4000円
T-77-2	環境アセスメントにおけるシステム分析手法に関する研究 —第I編：環境影響評価支援システムの検討— —第II編：空間に対する影響の評価に関する調査研究—	2000円
T-77-3	環境アセスメントにおけるシステム分析手法に関する研究 —第III編：米国における環境アセスメントマニュアル事例調査—	2400円
R-79-1	「ORの実践とその有効活用」視察団報告	1200円
R-82-1	「欧州におけるOR実施状況」視察団報告書	1200円
R-84-1	「米国におけるORの実践」視察団報告	1200円
T-86-1	「南北協力の新しい戦略——マイクロ電子技術を起爆として——」	3500円
R-88-1	「南米諸国とのOR交流視察団」報告書	1200円